

● 市民ワークショップを開催しました。

市民の皆さんと、鎌倉市の公共施設の現状と課題を共有し、具体的な公共施設を想定して、どのような再編が考えられるのか、シミュレーションゲームを通じて、公共施設再編について理解を深めていただくとともに、計画策定の参考とすることを目的に、市民ワークショップを開催（2日間）しました。

プログラム概要

- 2月1日（土） 公共施設再編の取組状況の報告、先進事例の紹介、公共サービスのあり方
- 2月8日（土） 公共施設再編シミュレーションゲーム

■第1回（2月1日）：参加者36名

1. 公共施設再編の取組状況の報告

「マンガでわかる公共施設再編の取組」（平成25年10月発行）を使い、鎌倉市の公共施設再編の取組状況を報告しました。

2. 先進事例の紹介「発想転換の公共施設再編」

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である南学氏から、国内外の先進事例をご紹介いただき、図書館を中心に、施設と機能を切り分け、必要な機能をどの場所で提供すべきかを考えることが重要であることなどをお話いただきました。



南委員による先進事例の紹介

【紹介事例】

<p>武蔵野プレイス</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 図書館、生涯学習センター、青年館の複合施設 • 施設はカフェを中心とした構成 • 図書館のセルフカウンターでは効率的な貸出返却が実現 • 自由に使える空間と有料のオフィス空間を設置 • パフォーマンススタジオは利用者（青年）による自主管理
<p>統合した小学校に町立図書館を併設した事例</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 過疎化が進む小学校を統合化 • 統合に合わせ蔵書数5万冊の町立図書館を小学校に併設 • 文部科学省による学校への補助金を有効的に活用 • 学校の正門（児童の入口）と図書館のエントランスは別 • 学校の敷地内に100台以上の駐車場を確保
<p>学校敷地に地域体育館を設置した事例</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 平日17時までは、学校体育館としての利用が最優先 • 17時以降と土日休日はスポーツクラブとして利用 • クラブハウスには集会室や浴室など充実した設備を設置 • NPOが指定管理者として運営（中学のクラブ活動も指導） • 2,500人の市民が会員となり、独立採算で運営
<p>台湾・台北市の無人図書館</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 無人図書館として貸出機能を充実 • 地下鉄駅構内の約60坪の図書館は6時～24時まで開館 • 公園内の約200坪の図書館も無人で運営 • ガラス張り、カード入場、監視カメラ設置等で防犯対策 • 1人の職員が、週に2、3回の巡回で返却本を再配架

※市民ワークショップの参加者は、無作為抽出により1,500名の市民の方へ案内をお送りし申込んだいた方です。1
（第1回、第2回ともに同じ参加者）

3. 公共サービスのあり方を考える

6つの班（各6名）に分かれて意見交換を行い、鎌倉市の公共施設について、施設（建物）とサービス（機能）を切り離し、①場所、②費用負担、③市民ニーズとのズレの3つの視点で評価しました。



1日目の意見交換風景

【意見交換の概要】

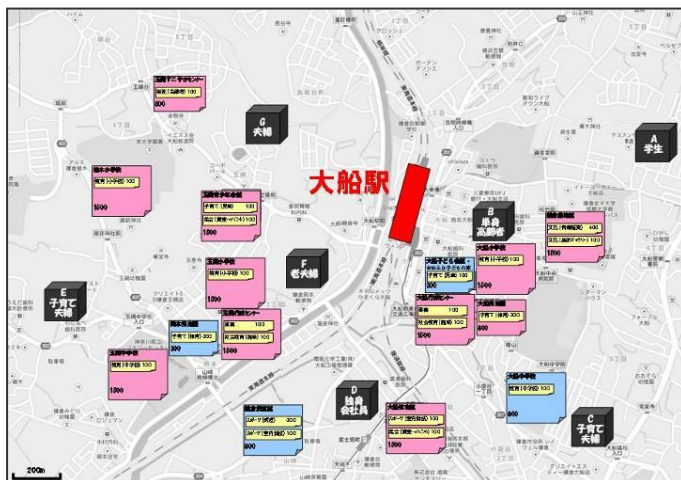
<p>①場所 できるだけ「<u>住まい</u>」の近くで提供すべき施設やサービスはどれですか？ 逆に、必ずしも<u>近くになくても構わない施設やサービス</u>はどれですか？</p>	
<p>複数の班から出た意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが利用するサービスは住まいの近く（通いやすい場所）で提供すべき 文化ホールや博物館などは、日常的な利用頻度が比較的低いため、住まいの近くでなくとも構わない
<p>特徴的な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政センターは、駅の近くなど便利な場所が望ましい 保育園は、保護者の通勤もあるため、なるべく利便性が高い場所が良い 高齢者福祉サービスは、送迎バスなどの環境整備も重要 図書サービスや放課後の子どもの居場所を提供するサービスは小学校の近くが望ましい
<p>②費用負担 できるだけ利用者に負担を求めず、<u>市の税金を使って提供すべき施設やサービス</u>はどれですか？ 逆に、できるだけ<u>利用者に負担を求めべき施設やサービス</u>はどれですか？</p>	
<p>複数の班から出た意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要不可欠な行政事務、学校教育、障害者福祉サービスは税金を使って提供すべき 社会教育、スポーツ、文化など、趣味で利用する、サービスを受けたい人が利用する、民間でも提供できるサービスは、利用者に負担を求めべき
<p>特徴的な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理は行政が負担し、サービスは民間で提供する方法もある 学校教育や高齢者及び障害者への福祉サービスは、利用者の負担が高くなってはいけない 学生割引などのサービスがあっても良い 図書サービスは、内容によって利用者が負担すべきサービスもある
<p>③市民ニーズとのズレ 現在、市が提供している行政サービスの内容と、<u>市民のニーズとズレている施設やサービス</u>はどれですか？</p>	
<p>特徴的な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校では地域性を利用したサービス提供ができるとよい（空き教室で行政窓口など） 子育てサービスは複数あるが、縦割りの弊害で施設が分かれている 子どもの遊び場が不足している スポーツ、診療サービスは民間施設でも利用できる（民間のサービスを利用したい） 高齢者福祉サービスは、中途半端な機能であると感じるため見直しが必要 保育園は、待機児童がいるためサービスの拡充や改善が必要 勤労福祉会館の役割がわからない トイレ等の設備が古く汚い

■第2回（2月8日）：参加者20名（荒天のため）

4. 公共施設再編シミュレーションゲーム

2日目は、1日目と同じ班ごとに、10～20年後の大船駅周辺の地域住民になったつもりで、適正な公共サービスを維持しつつ、老朽化した公共施設を再編していくシミュレーションゲームを実施しました。

ルールは、公共施設を施設カードとサービスカードに置き換えて、カードを移動しながら再編を検討し、トータルコストをポイントに見立てて削減する内容で行いました。



ゲームの対象地域（大船駅周辺）と公共施設の配置

【各班の再編提案の概要】

班	コンセプト	再編の考え方	主な再編提案
1	学校を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> 学校は適度に分散しており活用しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 行政センターの統合 体育館と武道館の統合 スポーツや文化サービスは、個人の趣味なので利用料を値上げ サービスを集約化する代わりにコミュニティバスの運行
2	私も混ぜて	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからお年寄りまで使える施設・交流する施設 自分にとって気持ちの良いまち 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館は民間施設を利用 玉縄行政センターは大船や駅ビル内を利用 学校で学童保育を実施 文化ホールは市で提供する必要はない 市民活動で日々利用するサービスの料金の値上げは必要ない 公だけでなく民の活用
3	世代間交流と利便性	<ul style="list-style-type: none"> サービスを減らさず、老朽化した施設を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> 行政センターの統合 体育館と武道館を統合 学校の複合化 子育てサービスは駅近くに配置 スポーツや福祉の利用者負担を増やす
4	生活密着 バランスタウン 大船	<ul style="list-style-type: none"> 玉縄地域と大船地域のバランスを考慮 子育て関係をまとめる 関連サービスをまとめ、相乗効果を図る 駅よりも住まいの近くにサービス配置 趣味の活動は遠くてもOK 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に図書と子育てサービス（保育）を複合化（ただしセキュリティが重要） 社会教育（教養・趣味の講座）は遠くても利用しに行く 体育館と武道館を統合
5	ふれあいの街 大船	<ul style="list-style-type: none"> 子どもからお年寄りまでふれ合いのチャンスを増やす（見守りができる） 収益を考慮した料金設定 コンパクト化 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に子育てと福祉サービスを複合化 スポーツ、文化、社会教育サービスは、料金を見直す（学割、10回以上の利用で安くする等） ふれあいセンターの設置
6	鎌倉に自信を取り戻す！	<ul style="list-style-type: none"> 行政センターを核に機能拡充（機能統合） 子どもとお年寄りにやさしい、高齢者に配慮したサービス 図書館（蔵書）を駅近くに集中 無駄を減らす（跡地等の有効活用） ネーミングライツで財源確保 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けサービス拠点の設置 学校体育館の一般利用 行政センターで子育て支援（放課後児童の居場所） 小学校に保育園



2日目の意見交換風景



参加者による投票で最優秀案に選ばれた提案

【成果発表と総評】

各班に提案内容を発表していただいた後、参加者による投票形式で最優秀案を選びました。

また、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である増井玲子氏から次のような総評をいただきました。

- 公共施設の再編により施設が減ったとしても、サービスのあり方や利用方法を見直すことによって、機能性の向上や新たな効果が期待できる。それらが議論されていた。
- ゲームでは資産売却、利用者負担を考えたが、参加者からネーミングライツ、IT化などの手法提案もあったように、様々な工夫が考えられる。たくさんの提案があり有意義であった。
- 今回は、大船駅周辺という限られた範囲でのシミュレーションだったが、各班でコンセプトや再編の考え方が異なったように、1つの答えを導き出すことは難しい。
- 公共施設再編の取組は鎌倉市全体や隣接する自治体との連携も考えていくことが重要である。



発表（上）と増井委員による総評（下）

【参加者からのご意見と感想】

最後に、参加者から、以下のようなご意見やご感想をいただきました。

- 公共施設再編においては、鎌倉市のまちづくりの理念も重要である
- ワークショップを通じて、今後、鎌倉市の公共施設がどのように変わっていくのか興味が湧いた
- 子どもの視点で見ると、自分達が提案したものとは違った方向になるかもしれない
- 民間活用や売却等の収益性を高める考えも必要
- 公共施設の理解を深めてから改めて考えたい